

平成28年度駐日各国大使の今治市視察

平成28年10月
外務省儀典官室

1 開催概要

10月17日から19日まで、外務省は今治市との共催で駐日大使夫妻の今治市視察を実施しました。儀典官室では、毎年度地方自治体と連携して地方視察を実施しています。

2 参加者

駐日各国大使夫妻等 7か国9名
(パナマ、ザンビア、グアテマラ、インド、コロンビア、フィンランド、EUの各大使)

3 訪問日程

10月17日(月) 愛媛県庁、コンテックス(株)、市長主催歓迎レセプション
10月18日(火) しまなみ海道、村上水軍博物館、大山祇神社・宝物館、
儀典長主催夕食会
10月19日(水) 渦潮電機(株)、今治造船(株)、今治西高等学校

4 各視察先の概要

<第1日目>

(1) 愛媛県知事表敬

中村知事により愛媛そして今治の魅力についての説明がなされ、それに続き活発な意見交換が行われました。各国大使に供された飲料は、愛媛特産品であるみかんのジュースでした。

(2) コンテックス(株)

日本一のタオル生産地で「今治タオル」の製造を行っているコンテックス(株)を訪問しました。同社社長より、いかに現在の今治タオルのブランド化がなされたのか、今治タオルプロジェクトにどのように取り組んでいるかを説明の後、工場見学を行いました。

(3) 市長主催歓迎夕食会

地元食材を活用した食事が供され、関係者との意見交換が活発に行われました。また、今治市民の方々の活動紹介として、少年少女合唱団の合唱や、愛媛県の無形民俗文化財にも指定されている「継ぎ獅子」が披露されました。



＜第2日目＞

(1)しまなみ海道サイクリング

「サイクリングの聖地」と称されるしまなみ海道で、今治市産業部観光課サイクルシティ推進室職員方々のサポートを得て、実際にサイクリング体験をしました。

(2)潮流体験

船に乗り最大10ノット(時速約18km)の潮流が渦巻くスポットである能島村上水軍のふるさとを間近に見るなど、瀬戸内海海上交通の歴史を感じることができました。

(3)村上水軍博物館

村上水軍が瀬戸内の海上交通の秩序をいかにして支えていたかを示す古文書や復元品等の展示を見学しました。また、甲冑や小袖の着付け体験が好評でした。

(4)大山祇神社・宝物館

お参りの作法について学び、樹齢2,600年といわれるご神木のある楠の林に囲まれた境内を散策しました。宝物館では、国宝、国重要文化財である貴重な鎧・兜や刀剣類、また日本で唯一の女性用甲冑などを見学しました。

(5)儀典長主催夕食会

今治市長をはじめとした訪問先関係者の出席を得て、参加大使との活発な意見交換が行われました。

＜第3日目＞

(1)渦潮電機(株)

船舶総合電機メーカーである渦潮電機(株)を訪問し、電動三輪自動車(E-Trikes)の試乗や、工場見学を行いました。特に、電動三輪自動車は参加大使の関心を集めていました。

(2)今治造船(株)

会長による企業の説明のあと、環境負荷が小さい燃料の使用や造船業の他国との競争についてなど、活発な質疑応答が行われました。また、実際の造船所を視察し、そのスケールの大きさに多くの大使が驚かれていました。

(3)愛媛県立今治西高等学校

学生による英語での司会進行の下、吟詠剣詩部、郷土芸能部と書道部のコラボパフォーマンス、及び海外研究部によるフェアトレードへの取組についての英語による発表が行われました。また、家庭科クラブ部員とタオルアートの作成を一緒にを行い、学生達との心温まる交流が行われました。

